

死の覚悟——いつ「死」に見舞われても、「マア仕方がない」と諦めのつくように、死に至るまでの一日一日を、自分とじてできるだけ充実した「生」を生きる他あるまい。

森信三先生一語千鈞より

再生



人生二度
なし

不尽

中・高生のための「人間の生き方」

森 信三先生 講述

実践人福岡仁風読書会

第85回 1月6日(土)

場所：仁風庵

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

はじめに

― 父親 人間学 入門 ―

戦後二十年たったころから「親子の断絶」というコトバが叫ばれ、人間疎外とか父親不在とかいうコトバがいつしか流行り出して、このころでは「家庭内暴力」や「校内暴力」が毎日のように新聞紙上に散見するようになっていますが、思えば全く虜に粟を生ずるような事で、日本の将来と青少年の現状を思えば、まことに深憂にたえない次第であります。わたくしは先に「わが子の人間教育は両親の責任」と題して「家庭教育に関する二十一カ条」をとりあげ、そのいちいちにつき詳説しましたが、この書の二大支柱は「躰けの三カ条」であり「夫婦のあり方」であります。後者の「夫婦のあり方」と申しても、これは主として、母親のあり方について力説したもので、家長たる父親を立てずして家庭教育はあり得ないというのが根本の趣旨だったのであります。

ところで今日のように国全体に一種のユルミが生じて、社会的にも退廃的現象の頻発する時代にあつては、家庭教育においても、両親の確乎たる信念と一致協力がなければ、非常に困難な時代に突入したと思ふのであります。すなわち子どもの教育を、単に母親に全く一任というだけでは、甚だ片手落ちの感をまぬがねらひのであります。と言いましても、父親がいちいち事細かに小言や叱りつけを連発することは、これまた賛成し難く、否これこそ「父親軽視」のタネを却つて種蒔くようなものであります。

では家庭における父親の役割は何かというように、それは人生の見通しと社会的視野の広い立場に立った人生の生き方に基づき、家庭のあり方と子供の育て方に対してその根幹となり、その方向を明示すべきでありましょう。それ故曰

頃は決して放任ではないが、しかし直接に子どもの躰けにとやかく口出しはしないというのが常態であるべきで、子どもの日常生活の角目と将来の岐路については、よき相談相手として、また人生の厳しい大先達として、断乎として方向を提示するのでなくてはならぬと思うのであります。それ故子どもの小学校時代には母親が家庭教育の、とりわけ躰け教育の主役を演ずるわけですが、中学生や高校生となると父親の果たす役割が次第に加重されてくるように思われます。

父親の權威

そもそも父親というものは、子どもにとっては、あまり理解されたい存在ではありません。母親の苦勞というものは、日常の起居動作や働きを通して眼にする故、比較的認識されやすいのですが、父親の方は仕事の都合上、職場と家庭とが隔絶されている場合が殆んどですから、職場における父親の姿に接することは殆んど不可能に近いと言えましょう。ただ子どもが、父親の權威というものをそれとなく感ずるのは、父親に対する母親のあり方によるわけであり、それによつて子どもも父親の存在の重さをそれとなく無意識的に感ぜしめられるわけであります。もともと眞の權威とは、権力を行使することによって生ずるものでなくて、そこはかとなき、人間的香氣ともいえる人格と品位と力量によって自ら発するものであります。

それにしても、外で働く父親の苦衷のほどは、子どもには理解されないのはむしろ当然ですが、妻たり主婦たる人には、充分な洞察を願いたいものであります。そしてこの点の洞察こそは夫婦間における根本でありまして、これは必ずしも女子大を出たから得られるというものでなく、否、大学卒にかえつてかような洞察が働かなくなっているのが現状ではないでしょうか。

それはともかくとして、父親自身がおのの職場において精励刻勤するだけでなく、その家庭における起居動作をも謹んで頂かねばならぬ非常事態の世の中に突入しつつあるように思われてなりません。これがおのずからしつけ教育の主役たる妻への絶大な協力を要する所以であると共に、ひいては父親の無言の權威にもつながるものであると思っております。

生き方の種まき

先に父親の主要な役割の一つとして、わが子に対して人間としての生き方の方向を指示すべきことを申しましたが、これは言い換えれば、子どもに人生の生き方の種まきをする事とも申せましょう。この「人間の生き方の種まき」ということは、父親に限らずおよそ教育と名のつくものすべてに通ずるわけでありまして、教育の根幹はすべてこの一語に尽きるように思われます。ですからわたくしは、「教育とは人生の生き方の種まきをする事なり」と機会あるごとに言ひもし、書きもしているわけでありますが、とりわけ理想の父親像を思い出す時、この一語ほど適切なコトバは他に思い出し得ないのであります。

子どもの立場から、父親の真のエラさがそれなりに認識されるのは、まずは歳四十に達しなければ分かりにくいかと思われませんが、その場合に、子どもの心に印象づけられた父親の一語、もしくは父親像の一面なりとも種まきできているとすれば、父親としては以て瞑すべく、またもつて卓れた父親と申してもよいでしょう。わたくしが多年親しくしております宮崎の眼科医の杉田正臣先生は、先年詩集「父」を刊行せられて今なお版を重ねておりますが、実に不朽の名詩篇と申すべきものであります。その書におさめられた百篇の詩は、ことごとく亡き父君に対する敬仰の一念であり、そこにしるされたご尊父こそ正に理想的人間像の典型であり、またこれを編まれた真臣先生もまた現代における稀有の考子と申されましよう。

人生二度なし

ところでわたくしは、生涯かけて「人間の生き方」について探求をつづけて来た

ものですが、人間の生き方についてわたくしの根本信条は「人生二度なし」でありまして、これは言わばわたくしの「ナムアマダブツ」であって、一枚看板なのであります。わたくしの思想も、学問も、宗教も、すべてはこの「人生二度なし」の根本真理から発するのでありまして、言わば「人生二度なし」教とも、また「人生二度なし」宗と申してもよい程であります。それほどまでにわたくしは「人生二度なし」という真理こそ、人生における絶対的な根本真理と信じてるのであります。

と申しますのも、この「人生二度なし」という真理ほど、われわれ人間として人生の深刻さに目覚めさす心理は、他には絶無と申してよいでしょう。しかしこの真理のもつ今一つの長所は、それが何人にも分かりやすいということでもあります。否、それどころか、この「人生二度なし」ということほど自明な、分り切った真理はないとお考えの方が多いと思われれます。ところが物事というものは、つねに一長一短でありまして、そんなに分かり易いということが、実は他の半面からは、案外分りにくいということにもなるのであります。ではどうしてかと申しますと、それはつねに平生この真理を、いつもわが心に忘れぬようにしているということは、かえって大へんむつかしいことだからであります。それと申すのも人間というものは、つねに人生の終末を見通して、それからひるがえって、日々の生活を充実するように生きるということは、非常に困難なことだからであります。

ところで、われわれがこの「人生二度なし」という、一見したところ、分り切ったような真理を、つねに心中深く捉えていないのは、わたくしたちの考えが未だ徹底していないからであります。言いかえますと、この宇宙と人生に関する考え方が、真にその人なりの結論に達していないからであります。すなわち真に生きた宇宙観や人生観を持っていないからと申してよからうと思えます。それというのも、すべて他人から聞いているだけでは、真に自分のものにはならぬからであります。【以下は、森信三先生「父親学入門 寺田清一編」をご覧下さい】

第二章 気品ある人格を育てる

人間にも賞味期限がある



年齢とは無関係な人間の賞味期限

賞味期限は商品だけにあるものではなく、人間にも当てはまります。期限は年齢によるものではなく、百歳を越えてもなお、まだ十分に余裕を残している人もいれば、二十代で期限の切れてしまった人もおります。

人間に与えられる期限の基準は、その人が他の人から信頼され、かつ社会に貢献しているかどうかにかかっています。

百歳を越えても、多くの人々に頼りにされ、お手本となる生き方をしておられる方は、期限を十分に余す人です。

一方、“自分さえよければ、それでよし”とする生き方をしている人は、期限切れといえましょう。

“このような人になりたい”と私が人生のお手本と仰ぐお方は、「上州手振りうどん」で有名な星野物産(株)(群馬県みどり市)の相談役・星野精助氏です。融通無碍という言葉はこの人のためにあると聞いていいでしょう。九十六歳になられたいまでも比類のない気品の高さ、人間の幅の深さに感銘しております。私のような者では願いが叶えられないと思いますが、一歩でも近づくと努力をし続けます。

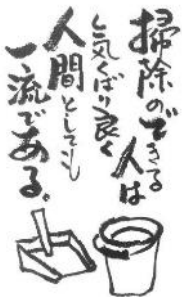
人生の目標を与えていただいた幸せに感謝します。

人間に与えられる(賞味)期限の基準は、

その人が他の人から信頼され、

かつ社会に貢献しているかどうか

にかかっています。



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 362 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 ハウスメイト



第362回 博多駅早朝清掃
1月8日(月曜日)

満31年目のスタート！
55名参加



第 3 6 2 回、博多駅早朝清掃 3 0 周年記念大会交流会に参加された掃除未経験者の方が参加いただきました。相談役の講演を聞いた後の感想で「明日から掃除を始めます」と言われる方はいても、実践される方は少ない中で今回即実践されたAさん素晴らしい！ありがとうございました。 けさえもん 拝



早朝の博多駅



お掃除の歌を合唱



元気印のOさん



博多駅副駅長挨拶



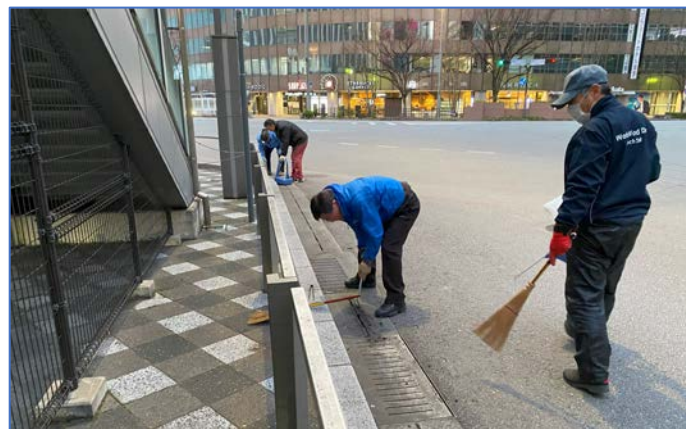
宮若市から初参加のAさん



博多駅早朝清掃の
マスコットgirl/Hちゃんを囲んで



大分から参加のお二人



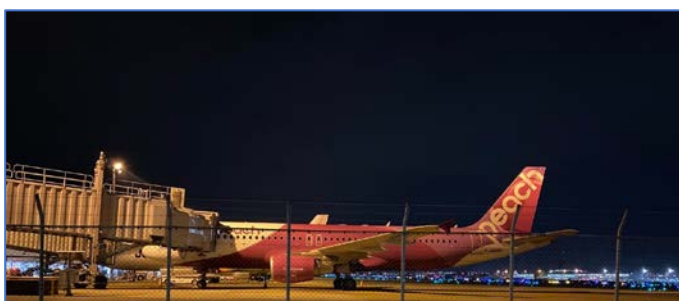
太宰府作務に学ぶ会／戒壇院 2023.7.2 新規スタート

1月7日(日曜日) 毎月第一日曜日(作務の後は座禅会) 第7回／T47回



福岡空港ミリオン清掃／H30,6,20～ T68回

R6,1,6



2024/01/06

～古き良き時代の日本再生～

とんぼろ

Instagram



@RAKUNOUJIN1962

=== 心を耕し、生を拓く ===



2024/01/01

令和6年元旦 こしき島長目の浜初日の出

令和6年(2024) 2月号 NO.015

とんぼろ掃除に学ぶ会／薩摩川内市 in長目の浜

第12回 長目の浜海岸清掃 《楽農人／とんぼろ海掃隊》



後援



令和6年元旦のひとり海岸清掃



令和6年新春海岸清掃



埋まってしまった漁網



大型の漂着ごみも多いです



新春の海岸清掃5名



楽農人放浪記 020

楽農人試験圃場／福岡県宇美町

ニンニクを通常の二か月遅れで植付してみました。／2023.12.20/ 宇美試験圃場



2023/12/20



2023/12/20

前日の雪が残る宇美試験圃場にニンニク植付。／2023.12.23/ どうなるでしょう！



2023/12/23

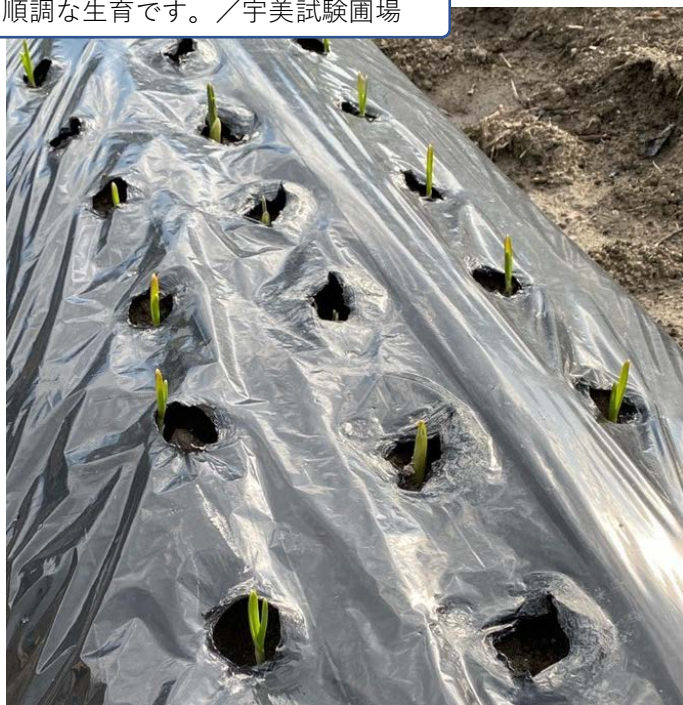


2023/12/23

2024.01.07 植付から18日目で発芽。順調な生育です。／宇美試験圃場



2024/01/07





楽農人放浪記 021

楽農人試験圃場／福岡県宇美町



2024.01.09 ニンニク畝間の手入れをしていたらアイタgirlがやってきました。



2024.01.09 深谷から昨年6月24日移植したホワイトソードをお土産に！



再生二月号

令和六年二月八日発行

(毎月一回八日発行)

創刊

平成二十八年九月一日

発行人

富吉製装右衛門

| | 2月 | | | | 3月 | | | | 4月 | | | | |
|-------|----------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|---------------|----------------|---------------|--------------|---------------|--------|---|
| 日 | 3 | 4 | 8 | 10 | 2 | 3 | 8 | 9 | 6 | 7 | 8 | 26~5/6 | |
| 曜 | 土 | 日 | 木 | 土 | 土 | 日 | 金 | 土 | 土 | 日 | 月 | 金 | 月 |
| 行事活動名 | 福岡空港ミリオン清掃 69回 | 戒壇院早朝作務 第8回 | 博多駅早朝清掃 第363回 | 長目の浜海岸清掃 第13回 | 長目の浜海岸清掃 第14回 | 戒壇院早朝作務 第9回 | 博多駅早朝清掃 第364回 | 福岡空港ミリオン清掃 70回 | 長目の浜海岸清掃 第15回 | 戒壇院早朝作務 第10回 | 博多駅早朝清掃 第364回 | | |
| 場所 | 福岡空港周辺 | 太宰府市戒壇院境内 | 博多駅博多口 | 鹿児島県薩摩川内市 | 鹿児島県薩摩川内市 | 太宰府市戒壇院境内 | 博多駅博多口 | 福岡空港周辺 | 鹿児島県薩摩川内市 | 太宰府市戒壇院境内 | 博多駅博多口 | | |
| 開始時刻 | | 6時30分 | 6時15分 | 7時00分 | 7時00分 | 6時30分 | 6時15分 | | 6時30分 | 6時30分 | 6時15分 | | |
| 運営団体 | 福岡掃除に学ぶ会 | 太宰府作務に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 楽農人 とんぼろ海掃隊 | 楽農人 とんぼろ海掃隊 | 太宰府作務に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 楽農人 とんぼろ海掃隊 | 太宰府作務に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | | |

上記行事予定表は、富吉の参加する予定を掲載させていただいています。その他、活動しているお掃除実践もごございますので、事務局にお問い合わせください。

発行人(編集人)富吉 製装右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡掃除に学ぶ会

Lineグループ運営:福岡清爽クラブ

◇福岡仁風読書会

◇NPO法人楽農人 とんぼろ海掃隊

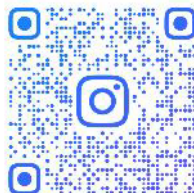
〈合同事務局〉〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>

TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)

こしき仁風庵:鹿児島県薩摩川内市里町里90番地



@F_JISSENJIN



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。